

お年寄りの道迷いへの対策

高齢化が進み、今後認知症などによる行方不明者が増えてくると推測されます。高齢になっても安心して暮らせる仕組み作りが急務です。宜野湾市が2024年から実施しているみまもライド。500円サイズのタグをつけておけば、センサー設置してるみまもり自動販売機などを通して保護者へLINEで通知する仕組みです。行動を規制することなくお年寄りの自尊心を尊重できる優れたシステムだと考えます。広域自治体である沖縄県として各市町村へ導入に向けて取り組むよう提言しました。

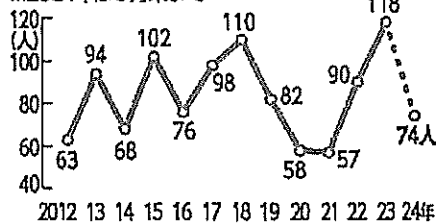
[みまもライドへの問い合わせ先]

宜野湾市福祉部介護長寿課

TEL. 098-893-4411



県内の認知症行方不明者の推移(沖縄県調べ)
※2024年は8月末まで



県内の警察に届け出があつた認知症やその疑いのある行方不明者が昨年は118人で、2012年の統計開始以来最多だったことを受け、9日の県議会一般質問で2議員が対策をたざした。

県警の鑑識課本部長は、認知症やその疑いがある行方不明者の届け出件数について「コロナ禍の時期を除き、増加傾向にある」と説明した。高齢化の進行が背景とみられる。今年の届け出は8月末までで74人。今年見つかつた人も74人で、うち4人は亡くなつてたという。

自身

指摘。道迷いの人が持つ専用タグを自販機が感知する検索システム「ミマモライド」の広域運用を提言した。糸数公保健医療介護部長は「市町村など意見交換をする」と述べた。

西銘純恵氏(共産)は認知症や軽度認知障害の実態について質問した。糸数部長は「早期発見、早期対応が重要」と答弁。認知症疾患医療センターに指定した病院と県が連携し、支援体制を構築するとして、同センターでは認知症に関する鑑別診断や治療の無料相談にに応じている。

(宮沢之祐、大嶺雅俊)

琉球新報社提供 2024年10月11日

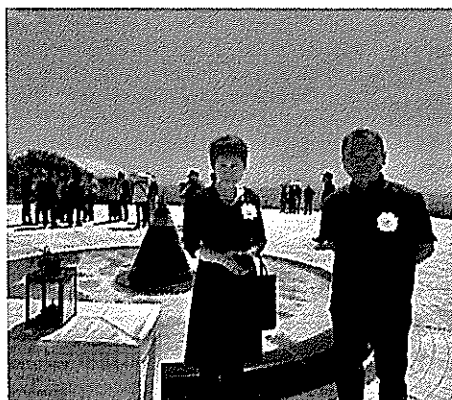
認知症行方不明118人最多

県議会一般質問 広域見守り提言も

活動記録



喜友名23号開通式

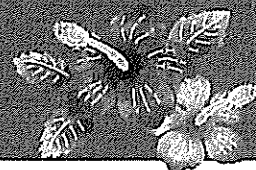


沖縄全戦没者追悼式



10/27空手の日記念演舞祭

山内スエコ



2025年度 議会活動報告

平和な沖縄、安心して暮らせる地域をめざして

2026年波乱の幕開け、皆様からの日頃のご厚意に心から感謝を申し上げます。

昨年は戦後80年という節目の年でした。「沖縄を二度と戦場にしない」県民の思いを再認識しあらゆる施策を講じているところです。しかしながら世界ではウクライナ戦争、米国・イスラエルのイランへの爆撃など意味のない戦争が繰り返されています。他国の戦争は我が国の経済にも大きな打撃を与えています。ガソリン代の高騰・円安・物価高はますます拍車をかけています。命・人権が奪われ、社会経済の破綻につながる戦争をどんなことがあっても止める…政治家の一番の仕事を全うする事を改めてお誓い申し上げます。

さて、玉城デニー知事二期目の最終年となりました。好調な観光業などの後押しもあり、県税の大幅増は次年度予算9000億と県政史上初の大台となって

います。しかし、まだまだ子供の貧困対策、ひとり親支援対策、非正規雇用支援対策、物価高対策に加え基地問題はなかなか進展をしません。より強い経済の構築を実現し未来に向け沖縄の更なる発展を知事と連携して頑張っていきたいと思います。また、うるま市は合併から20年がたちました。県内外へのうるま市の魅力をアピールし県政の立場から支援を重ねていきたいと思います。

次年度も不安定な社会情勢に速やかに対応できる精進を重ねてまいります。

引き続きの叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

☆2025年度の活動報告です。ご一読いただければ幸いです。



与党の座長として調整・要請に大忙し

戦後80年 歴史の修正は許さない

自民党の西田参議院議員はひめゆり資料館が「歴史の書き換え」「でたらめだ」と発言。県議会では「沖縄戦の実相を歪め戦没者や戦争体験者を冒涇している」と問題視し西田議員に対し謝罪と発言の撤回を求める意見書を可決しました。

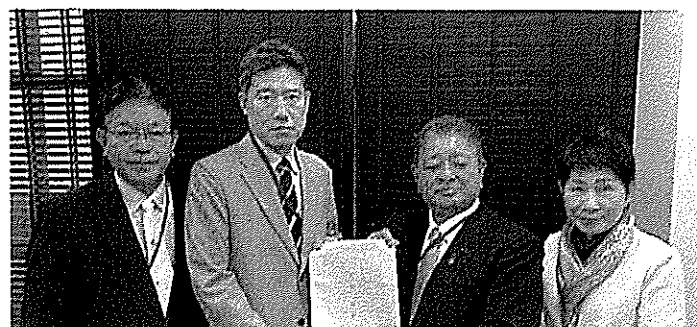
議会を代表して自民党森山幹事長(当時)へ自民党としての発言の認識の軽薄さを指摘し改善を求めました。



西田発言に抗議、謝罪、発言の撤回決議提案
県議会代表で自民党幹事会へ要請

PFOS除去高機能活性炭 補助金継続について

PFOS除去のための高機能活性炭の更新は事業(ち切りで予算がつきません。県民の安心安全な水の供給のためには、高機能活性炭の設置は重要であり米軍由来の汚染という観点からも国の補助は必要であると政府への要請を行いました。(16億という補助がなければ水道料の値上げにもつながり、理不尽な対応です) 引き続き求めています。



PFOS 除去高機能活性炭の支援要請

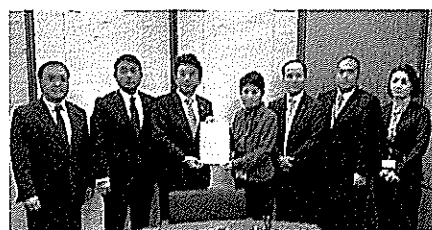
ガソリン暫定税率の 見直しについて

6月議会

ガソリン暫定税率の廃止に伴う沖縄県の特別措置法の継続について政府・各政党に要請をしました。

車社会の沖縄ではガソリン代の捻出は経済に即影響が及びます。国も自民党も沖縄県連もその減額には後ろ向きであり残念ながら県の求める減額にはなりませんでした。

県民の生活に直結のガソリン代については与野党一致の取り組みが重要です。



ガソリン暫定税率廃止に向け、
沖縄減額の延長要請へ

国立自然史博物館を 沖縄に誘致を

生物多様性の宝庫である沖縄にアジア初の自然史博物館を整備しようと研究家の皆さん、経済界、沖縄県議会は県民会議を作り沖縄県も政策として取り組みが始まりました。国立ということで政策に入れ込むためには国会議員の理解が必要です。県議会と県民会議の皆さんで要請活動を始めています。

地球規模で自然環境が破壊されている中、沖縄の素晴らしい自然環境を未来永劫守るためにも重要な事業だと考えます。



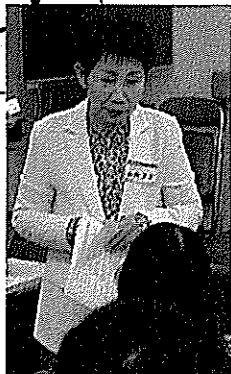
与野党会派長で県議会100周年記念
国立自然史博物館誘致に向け、知事へ予算要請

ハラスメント条例制定に向け ワーキングチーム開始



若者の政治参画
意識の醸成を図る

高校出前講座(4校)
若者議会(琉大にて)



与党会派一丸となつての 切磋琢磨の県政運営を



議会改革推進委員長として

普天間基地返還問題 2月議会

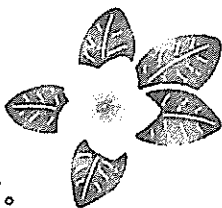
辺野古新基地完成後も返還しないという米国国防省意見の真偽を政府に求めよ!→知事は日米合意の疑念があり決して容認できないと答弁しました。

福祉施設の倒産、 廃業の実態について 2月議会

介護事業所170ヶ所
放課後デイサービス27ヶ所
障害者グループホーム18ヶ所

いづれも人員不足が原因

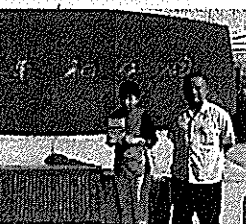
早期の人員確保対策が求められます。



てい一だ平和ネット会派

恩納村核ミサイル跡施設メースB施設、
愛楽園へ

非核三原則順守を!



相次ぐ米軍犯罪へ抗議(防衛局へ)



知事へ予算要請



教員の負担軽減策として 2月議会 部活動支援員の充実を求める

→24年155人 現在177人

次年度は更なる増員を目指します。

県営石川第二団地建て替え始まる

近隣地のうるま市との協議も進み順調に建設中。

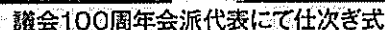
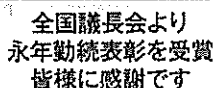
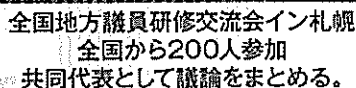
(令和12年度完成予定)



山内スエコ

もっとしなやかに
もっとパワフルに!





琉球新報提供 2025年11月18日



<http://www.facebook.com/sueko.yamauti>



<http://x.com/@XB5xQ0z85ijD7lR>



KOMESUREPORT

VOL.1

2024年度議会活動報告

沖縄県議会議員 米須清一郎

平和で明るい未来へ コメス清一郎の一期目スタート!

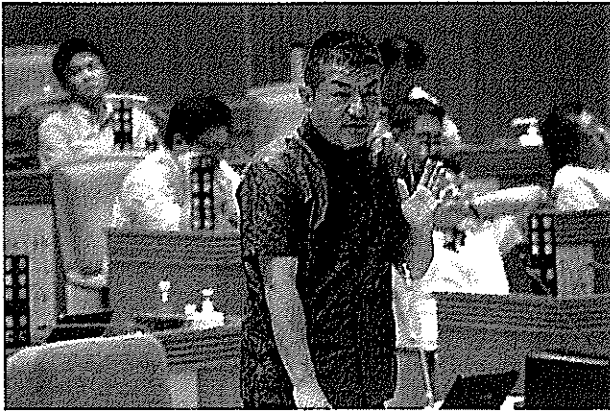
ご挨拶・希望をつなぐ県政へ

皆様、こんにちは！ 昨年6月の選挙で多くの方々からお力をいただき、県議としての活動がスタートしました。

それからすぐに米兵による女性暴行事件が発覚、米軍や国へ通報体制のあり方や再発防止等を求める抗議・要請行動を行いました。繰り返される事件・事故、騒音やPFAS汚染、外来機の増加と新たな常駐機配備、パラシュート訓練など、基地負担の軽減を求める中むしろ県民の負担は増大する一方です。また、コロナ禍の後に物価高が続き、私達の生活を取り巻く環境は厳しさを増しています。コメス清一郎は、目の前にある様々な問題に向き合い、いろんな方々と協力し、それらを解消解決できるよう誠心誠意尽力します。

子どもから高齢者まで、一人ひとりが安心と喜びを感じる社会を築くため、こども・子育て支援と教育の充実、産業振興など積極的に推進し、未来が明るいものになるよう全力で取り組んでまいります！

2024 年度 議会活動報告 一歩ずつ、確かな前進



暮らしの安全と地域課題を問う

- 1 米軍基地問題について
- 2 物価高騰対策について
- 3 高齢者福祉について
- 4 子ども・子育て支援について
- 5 教育行政について
- 6 まちづくりについて

6 月定例会 一般質問

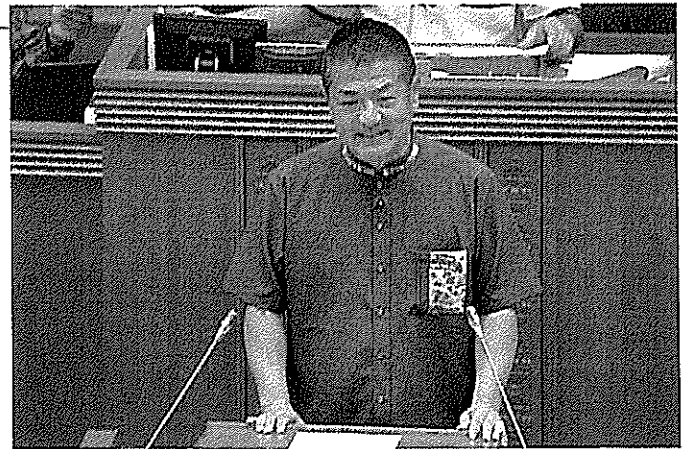
〈内容説明〉

- 嘉手納飛行場と普天間飛行場周辺の米軍機騒音の実態を確認し、騒音被害を軽減できるよう、日米騒音防止協定の遵守状況を米軍側としっかり確認し合うことを求めました。
- 有機フッ素化合物（PFAS）汚染について、比謝川流域の基地内立入調査、健康影響に関する実態把握のための血中濃度調査、農作物及び魚介類の汚染実態把握調査の実施の可否を問い、特に基地内立入調査の必要性を訴えました。
- 物価高騰対策としての県補正予算事業を問い、その中で賃貸住宅家賃低廉化事業について、主体となる市町村との連携、土木建築部門と福祉部門の連携を求めました。
- 高齢者生活困窮実態調査、保育所待機児童の状況と対策、小中高校における教員不足の状況と対策及び学校給食費無償化の取組を問いました。
- まちづくりを進めるため、米軍基地返還予定地の状況と返還に向けた取組、県道24号線バイパスの整備状況と推進のための取組を問いました。

9 月定例会 代表質問

暮らしと平和、未来を支える提言

- 1 日米地位協定について
- 2 地域外交について
- 3 観光振興について
- 4 交通施策について
- 5 平和教育について
- 6 教員の働く環境の改善について
- 7 若者の支援について



〈内容説明〉

- 米軍絡みの事件・事故の増加やPFAS汚染など、さまざまな観点から問題視され、見直しを求める声が多い日米地位協定について、改定に向けた取り組みの加速を求めました。
- 昨年3月に策定された沖縄県地域外交基本方針の内容を問うとともに、観光・経済・医療福祉・教育・文化などを網羅した具体的な計画と体制整備を求めました。
- 沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場（MICE）事業の今後の方向性や、宿泊税の市町村への配分、離島住民への配慮について取り上げました。
- 交通施策として、バス無料化事業や交通結節点実証事業の進捗と今後の対応を確認しました。
- 戦争体験者の話を直接聞ける機会が減る中、戦争遺跡の保存・活用的重要性を訴え、修学旅行等の平和学習を充実させるため観光事業者との連携を求めました。
- 教員不足や精神疾患による休職者増を踏まえ、授業持ち時間の見直し、非常勤講師の処遇改善、小中学校でのメンタルヘルス支援の全県展開を求めました。また、中学卒業時の進路未決定者や高校中退者への支援に向けた取組を問いました。



見えにくい課題に焦点を！

- 1 平和及び交流推進について
- 2 米軍基地から派生する問題について
- 3 防災対策と災害支援について
- 4 観光目的税（宿泊税）について
- 5 交通政策について
- 6 住宅政策について
- 7 教育支援について

2 月定例会 代表質問

＜内容説明＞

- 「沖縄のこころ」を国内外に発信し、アジア太平洋地域の平和構築に貢献するため、戦後 80 年における県の平和祈念事業と平和構築の具体的取組、また「世界ウチナーンチュセンター」設置の前倒しを求めました。
- 普天間基地周辺の PFAS 汚染について、専門家会議の見解及び立入調査の実現に向けた取組、北谷浄水場の水源及び浄水後の状況と対策、健康不安への対応を問いました。
- 昨年 11 月に発生した北部豪雨災害の被災者支援と、市町村への支援強化、災害時体制の強化を求めました。
- 宿泊税については、離島住民への課税免除や徴収時の配慮、持続可能な観光振興への活用について問いました。
- 鉄軌道と公共交通ネットワークの構築、観光 2 次交通ターミナル機能化に向けた継続的な取組と計画を求めました。
- 住宅確保要配慮者への支援として、家賃低廉化事業や市町村の居住支援体制、公営住宅以外の整備方法の必要性を訴えました。
- 給食費無償化による保護者負担の変化、教員 1 人あたりの授業時数、産業医や衛生委員会の設置状況、メンタルヘルス対策に関する実態と今後の効果的な対応を求めました。

＊

米軍基地関係特別委員会 抗議・要請 2024 年 7 月 19 日～7 月 20 日

相次ぐ米軍構成員による女性への性的暴行事件に関し、駐日米国大使館、内閣官房、防衛省、外務省を訪ね、抗議・要請行動を行いました。抗議決議文・意見書を手交し、意見交換を通して県及び市町村への迅速な通報、具体的で実効性のある再発防止策等を強く求めました。

◇ その取組状況等を今後も確認し続けていきます！



文教厚生委員会 県外視察 2025 年 1 月 15 日～1 月 17 日

国際的な研究機関である「国際連合大学」、教職員のメンタルヘルス対策を広域で行っている「東京都教育委員会」及び「リワークプラザ東京」、ギャンブル依存対策を行っている「ギャンブル依存症予防回復センター」、地域包括ケアシステムとして企業や団体等と連携して独自の市民サービスを提供している「三鷹市福祉 Labo どんぐり山」を訪問し、概要説明を受け質疑応答を行いました。

◇ それぞれの施設と取組の特徴・メリットを沖縄県の今後の施策展開に活かします！



会派活動

与那国島視察 2024年9月17日～18日

自衛隊基地及び同建設計画のある地域、港湾などの公共施設等を視察し、行政関係者や住民と意見交換を行いました。

国境の島・与那国が国防の間で揺れ動き、多くの住民が不安を抱える状況を目の当たりにしました。

◇ 基地や武力に頼らない持続可能な島の活性化はどうあるべきか考えさせられました。定住促進及び交流促進を図る環境を整備し、発展性を見出す施策を展開するなど、積極的・重点的な離島振興を求めています！



北部集中豪雨被災地視察 2024年11月16日

河川の氾濫や土砂災害等による家屋、道路、河川、農地等の被災状況及び復旧状況を確認しました。

◇ 被災者の支援を急ぐとともに、今後の防災対策及び災害時支援の体制強化、県と市町村・関係機関の連携強化を進めます！

全国地方議員交流研修会 in 沖縄 2025年1月29日～31日

「地方から日本の政治を変える」

地元沖縄をはじめ、全国40都道府県から自治体議員を中心に約350人が参加。2日間にわたる講演や事例報告、討論と、3日目の現地フィールドワークを通じて、戦争回避、農業・食料、医療福祉、子どもの貧困、防災、原発など、自治体が直面する国内外の課題と打開の方向を学び合いました。

青山学院大学名誉教授・羽場久美子氏の講演「戦後80年 私たちから平和をつくる」では、国際秩序が大転換期にあり、冷静な国際政治経済の分析と進路選択が必要であること、国家ではなく地域・市民・自治体こそが平和と共存を築く主役であることが語られました。

また全体会では、「日米地位協定の抜本的見直しを求める決議」を採択し、2月国会への政府申し入れが行われました。

◇ 地域の課題と社会の大きな問題に地元議員同士そして全国の議員と連携して取り組み、国会にも繋ぎ国策として反映させるよう努めます。諸課題の解決を図り、地域と社会の発展に貢献できるよう尽力します！



発行者
沖縄県議会議員 米須 清一郎

ヨメス清一郎事務所

〒904-0103
沖縄県中城郡北谷町字塩江 618-2
Phone&FAX: 098-886-7066
Email: s.komesu1109@gmail.com

沖縄県議会事務所

〒900-8501
沖縄県那覇市堀崎 1-2-3 議政館518
Phone: 098-866-2702
FAX: 098-866-2708

各種 SNS で日々の活動を発信しています。



Facebook



Instagram



X (Twitter)

3.7x7.2
= 26.64

KOMESURREPORT

コメス清一郎 県議会議員報告書 Vol.2

平和で明るい未来へ コメス清一郎2年目の活動

暮らしを支え、沖縄の可能性を導き出す

県議の役割をいただき早や2年が経とうとしています。
この間多くの方々と協力し、米軍基地に派生する事件事故や騒音、
PFAS 問題などへの対応に努めるとともに、様々な課題に向き合い、
一つひとつの問題の解消、生活環境の改善、沖縄の発展に向けた取組
に励んでまいりました。

しかしながら多くの課題が残されたままであり、さらに政治や軍事
をめぐる世界情勢が不安定さを増し、安全保障の問題が物価高騰な
ど暮らしを脅かすかたちで私達の生活を混乱させています。

「世界を変えなければ沖縄は変わらない」と言えるほど大変な状況で
一筋縄にはいきませんが、「沖縄から世界をよくしていく」という大き
く強い信念をもって、目の前の課題解決と沖縄をよりよい方向へ導く
ための政策に全力で取り組んでまいります。

米須清一郎

県議会議員活動 2 年目の成果と取組

その1 宿泊税の導入

県執行部への働きかけを重ね、市町村・観光業界との丁寧な調整を促進。
2025 年 9 月定例会での条例可決という、早期実現へ。
離島住民への配慮も忘れず、通院・大会派遣等の関連予算を拡充しました。

その2 観光二次結節点の整備

2024 年度から積み上げてきた実証事業を、より効果的・継続的な形へ。
ターミナル等整備計画の策定に向け、着実な歩みを進めています。



6 月定例会一般質問

その3 道路環境の改善

老朽化した標識が多く、全体更新には 10 年以上を要する状況。
その課題に正面から向き合い、2026 年度の重点的予算措置として前倒し実現へ。

その4 離島過疎地域の振興

人的支援・体制づくり・定住移住促進事業の展開を強く要求。
県の離島総合支援センター設立と、新規事業の立ち上げを後押ししました。



9 月定例会代表質問

その5 防災対策・災害時の連携強化

2024 年 11 月、北部集中豪雨災害という現実を受けて。
県と市町村・関係機関の連携強化を訴え、「県防災タイムライン」の策定・
運用へとつなげました。

その6 米軍基地負担の軽減

P F A S (有機フッ素化合物) 汚染という、県民の健康に直結する問題。
健康問題検討委員会への取組要求が実り、2026 年度からの県相談窓口設置へ。

その7 こども・若者支援の充実

中卒進路未決定者、高校中退者——繋がりにくい若者を、誰も取り残さない。
既存事業の充実と新たな事業創設を促し、支援体制の強化を実現しました。



2 月定例会一般質問

その8 国際平和創造拠点の整備

「国立おきなわ自然史博物館」の実現に向け、県議連事務局として民間団体へ
積極的に働きかけ。
2025 年 12 月、誘致活動に向けた県民会議を発足。大きな一歩を踏み出しました。

■ 基地負担の軽減・跡地利用・平和構築

米軍基地等による県民負担の軽減
騒音、PFAS、事件事故等の問題解決、
日米地位協定改定への道筋を！

米軍基地返還予定地等のまちづくり
返還を促進し、跡地利用によるまちづくりを推進！

平和構築の推進

沖縄県地域外交基本方針を具現化するため全分野の
事業を展開し、「世界ウチナンチュセンター」の整備、
アジア太平洋をはじめ世界と交流し人材を育成する新
たな国際平和創造拠点づくり、国際平和に向けたネッ
トワークの構築を！

■ 離島・過疎地域の振興

離島過疎地域の振興

移住定住につながる居住・就業
創業・子育て支援等の支援、活
性化策の展開、包括的・持続的
な推進体制の構築！



沖縄の課題解決と未来づくりへ7つの重点テーマ

基地・平和／産業振興／暮らしの基盤／地域振興／医療福祉／こども教育／環境エネルギー

■ 住宅・交通・生活基盤

住宅政策の強化、居住支援の展開

新たな手法による公的住宅整備の促進と居住支援
の体制づくり！

交通政策の推進と移動支援

道路網の整備と鉄軌道、モノレール延長等による
公共交通ネットワーク、観光2次交通結節点機能
の整備、次世代型モビリティ、ライドシェア等の
展開！

■ 医療・福祉・高齢者支援

地域医療・在宅医療の推進

コロナ禍での状況等を踏まえ、一人ひとりが安全
安心に医療を受けられる環境づくり！

高齢者の生活支援の充実

健康づくりと生きがい活動と移動支援などを充実
させ、誰もが地域において安全安心に暮らすこと
のできる環境づくり！



■ 沖縄振興・産業振興・MICE

沖縄振興の推進

これからの沖縄の発展のための予算と制度へ！

産業振興の推進

新たな技術の開発や導入、人材育成、イノベー
ション、県外からの誘致や交流など効果的・
戦略的な振興策によって稼ぐことのできる沖
縄型産業を創出・拡大！

MICEの整備促進

沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場を整
備し、観光振興の新たな拠点づくり、東海岸地
域の活性化！

■ 環境・エネルギー

エネルギー政策

新エネルギー・再生エネルギーの開発・導入に
より、島嶼県である沖縄のエコロジカルで持続
的なエネルギー確保！

■ 子育て・こども若者・教育

子育て支援の充実

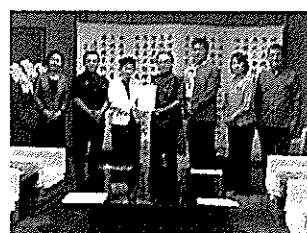
妊娠期から出産、乳幼児、大人になるまでの
発達段階に応じたきめ細かな支援！

こども若者支援の強化

子どもの貧困問題を解消し、誰もが夢と希望を
持って成長できる環境づくり！

教育と人材育成の充実

多様な学びの場を増やし、主体性と当事者性を
育む教育、誰もがチャレンジし自己実現に向か
う環境づくり！



活動記録

声を聞き、現場を歩き、政策へつなぐ。

沖縄の暮らしと未来を支えるため、県内外での視察・交流・研修に取り組んでいます。

沖縄の未来づくりの活動



国立おきなわ自然史博物館誘致県民会議立ち上げ
沖縄科学技術大学院大学（OIST）視察
ジャングリア視察

交流・平和・文化継承の活動



地域・教育・人材育成の活動



議員研修
読谷高校出前講座



愛知県先駆的取組視察
戦後80年沖縄県議会平和祈念古酒甕造り
（ユネスコ無形文化遺産登録記念）
沖縄県・ハワイ州
姉妹提携40周年交流



発行者
沖縄県議会議員 米須 清一郎

コメス清一郎事務所 沖縄県議会事務所
〒904-0108 沖縄県中頭郡北谷町字茶江 616-2 36 cm
Phone & FAX: 098-936-7065 沖縄県那覇市泉崎 1-2-3 議員居宅 516
E-mail: s.komesu1109@gmail.com FAX: 098-886-2708

各種 SNS で日々の活動を発信しています。



Facebook



Instagram



X (Twitter)